

「昭和100年」関連施策関係府省連絡会議（第3回）

議事概要

令和7年4月17日(木)
16:00～16:30
官邸4階大会議室

議事次第に沿って議事が進められた。その概要は以下のとおり。

○ 橋内閣官房副長官挨拶

- ・ 来年に改元から満100年を迎える昭和という時代は、激動と復興の時代。
- ・ 60年あまりの長きにわたる中で、多くの分野で人々が躍動した時代でもあり、つらかったこと、苦勞したこと、また楽しかったこと、楽しめるようになったこと、などが様々な分野でたくさんあり、昭和には、今、振り返ることに意義がある要素が数多く詰まっている。
- ・ したがって、幅広い分野にわたり「昭和100年」関連施策を推進することは、幸せや生きがいを実感でき、希望あふれる未来を切り拓く機会に、また、将来にわたる国際社会の安定と繁栄への貢献に繋げていく良い機会になるものと考えている。
- ・ そして、できるだけ幅広い国民にそこに参加していただき、昭和とはどういう時代だったかを感じてもらうことが、大切であり意義のあることだと思っている。
- ・ 関連施策について、本年1月に決定した「基本コンセプト」に基づき、各府省において検討を進められているところ、検討はまだ端緒にすぎないばかりであり、各府省ごと、また分野ごとに濃淡があるのが現状。本日も講話を頂く帝京大学学術顧問の筒井清忠先生のお話、第1回の会議でお配りした有識者からのご意見なども踏まえ、より幅広い分野にわたり、有意義な関連施策が行われるよう、各府省あけて、令和8年度予算要求も見据えた関連施策の具体化と充実に向けて、一層のご検討をお願いしたい。

○ 議題（1）「昭和100年」関連施策に係る各府省の検討状況について

橋本内閣官房「昭和100年」関連施策推進室長より、資料に沿って説明。

○ 議題（2）帝京大学学術顧問筒井清忠氏からのご講話

筒井帝京大学学術顧問より、「「昭和100年」への視座」と題して説明。

○ 佐藤内閣官房副長官挨拶

- ・ 本日は筒井先生から大変貴重なお話をいただいた。
- ・ 各府省におかれては、関連施策をご検討いただいているところ、更にもう一段踏み込んだ検討をお願いしたい。
- ・ それと合わせて、国全体として昭和100年の機運を盛り上げるために、政府だけでなく地方公共団体や民間も含めて取組が幅広くなされることが必要であり、それぞれの所管の関係団体に積極的に周知をお願いしたい。

以 上